令和2年度 第２回生駒市スポーツ推進審議会
会議録(要旨)

日時　令和2年10月26日(月)午後3時30分から
場所　コミュニティセンター4階 402･403会議室

◎ 出席委員(敬称略)
池田誠也、浦井善宏、岡本 洋、下宇宿勲、竹内幸子、塚原 愛、西森禮子、松尾正則、三村明弘、連 靖和
(事務局)生涯学習部長、スポーツ振興課長、スポーツ振興係長、スポーツ振興課主査

内容
1. 案件
（1） 教育委員会からの諮問について(生駒市スポーツ推進計画のあり方について)

2. その他
（1） 新型コロナウイルス感染症対策について
（2） 熱中症対策について
（3） 学校における働き方改革に係る文部科学省の取組について
（学校部活動の段階的な地域移行について）

案件内容
(1)教育委員会からの諮問について(生駒市スポーツ推進計画のあり方について)
＜会長＞
それでは、案件(1)「教育委員会からの諮問について」事務局から説明を。

＜事務局＞
「教育委員会からの諮問について」を説明

＜会長＞
ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

＜委員＞
スポーツ推進計画のあり方の検討ということであるが、生駒市の総合計画や他の計画との期間等の兼ね合いはどうなっているか？

＜事務局＞
関連計画として、第６次生駒市総合計画の第１期が令和元年度から令和5年度までの5年間、第2次生駒市教育大綱が令和２年６月～令和6年５月までの4年間、その他では生駒市公共施設マネジメント推進計画、個別施設計画があり令和2年度から令和11年度までの10年間で5年後を目途に計画の見直しを行うとなっております。なお、個別施設計画内では、対象施設となる体育施設が、令和5年度を目途に検討していく予定となっております。

＜委員＞
細かい内容となるが、計画概要版の3ページにある「ライフステージに応じたスポーツライフ」について、近隣の公園には遊具とグラウンドがあるが、看板には「ボールを使うな」と書かれている。子どもたちがボールを気軽に使える環境を整備してもらいたい。
また、小平尾南体育施設やむかいやま公園体育施設はトイレが古い。特に屋外トイレが古く感じる。
基本目標3の取り組みの「体育施設の整備と充実」の中で考えていただけると思うが、きれいにしていただきたい。
また、基本目標5の取り組みの「学校との連携」で、部活動の運営支援とあるが、学校ごとに生徒数などの規模が違うことから、部活動が盛んな学校もあれば、生徒数が少ないため部活動数自体が少なく、行いたい種目が出来ないことがある。

＜事務局＞
公園については、遊具はあるが、確かに色々な制限などがあると聞いている。
トイレについては、公共施設マネジメント推進計画等を考慮しながら、生涯学習施設を含めトイレ洋式化に向けては、生涯学習部を挙げて取り組んでいます。
生涯学習施設は、今年度でトイレ洋式化の改修が終わりますので、今後は徐々にではありますが、体育施設の方についても進めていきたいと考えています。
体育施設は避難所に指定されている施設もあるため、新型コロナウイルス感染予防対策等も考慮し、トイレの整備は必要と認識しています。
学校との連携については、先日文科省から出された「学校における働き方改革の取り組み」の中で、学校部活動と地域部活動の仕組みについての発表がございましたので、今後は校長会選出委員からもご意見をお伺いしながら進めていきたいと考えています。

＜委員＞
障がい者スポーツについて、現在も体育館等の開放を進めていただいているが、障がい者スポーツについては息が長く結果がなかなか出にくい施策であると思っているので、引き続き長い目で進めてもらいたい。
新型コロナ対策で、スポーツ推進審議会として参考とするものがあるのか、もしくは、推進審議会としてコロナを踏まえたスポーツ活動について考えた方が良いのか、また見方を変えて国や県などの指針などを参考にするのか、その辺りのこれからのスケジュールについて教えていただきたい。

＜事務局＞
生駒市には新型コロナウイルス感染症対策本部があり、国や県の対応方針などを受けて、コロナ対策の対応について様々な判断をしている。
その中で、スポーツに関しては、国や県の方針、市の対策本部などで決定される方針を取り入れて、体育施設の利用基準を定めています。また、競技ごとのガイドライン等があるので、基本的には市の策定した体育施設の利用基準を遵守していただき、それに加えて競技団体から出されているガイドライン等を遵守して活動していただいているのが現状です。
また、事業等開催時の定員等については、国や県から出されている方針を基に、市の基準を作っていっております。
※市体育施設利用基準を説明
ご質問のコロナウイルス感染症対策に関するスケジュールにつきましては、市としましても見当がつかないのですが、ワクチン等の開発に一定時間がかかると言われておりますし、また、国や県などのコロナ対策の今後の対応等を検証し、今後もその辺りの動向を見ながら進めていければと考えています。

＜委員＞
　今回答申するにあたり、何か気を付けることはあるのか？

＜事務局＞
　特に気を付けていただく内容はありませんが、本日いただいたご意見、今後いただくご意見を調整し、答申の中に反映させていただきますので、委員の皆様方には様々なご意見をいただきたいと考えています。

＜委員＞
　先日、小学生の卓球大会を開催したが、新型コロナ感染症対策として、健康管理シートを1週間前から当日まで書いてもらった。当日は、手指や卓球台、支柱の消毒、ピン球などの共有道具の消毒を行った。
　思ったより時間はかからなかったが、運営側の負担が大きかった。
　県の中学生大会も開催されたが、同じように対策を講じて開催されていた。
　ただ、市の中学生大会は無観客での実施、先生だけが会場に入れるという基準で開催された。引率の先生だけの入場で非常に厳しかった。

＜委員＞
　競技によっては1週間前から健康チェックをし、無観客で、しかも更衣室を使わないなどの場合もある。
　中学校の大会では、完全入替制で競技をしている状態であるため時間がかかると思う。
　そのため、会場もたくさん必要になるので、先日は生駒市内の学校同士の試合にもかかわらず、宇陀市で試合をしていた。校長として応援に行きたかったがそれも断られた。

＜会長＞
　現在は、全てにおいて、本当に厳重な形で大会等が運営されている。
　しかし、これを乗り越えていかなければならない。

＜委員＞
　先ほどの件で、オンライン等での試合のライブ配信はなかったのか？

＜委員＞
　なかったかと思う。

＜委員＞
　現在、大きな大会等では、オンライン配信がされている。
　そういう環境があれば、見る方も、する方も良いと思うが、今後そういった環境の整備はどうか？

＜委員＞
　市の大会でも、そういったことができないか検討した。
　物理的に可能であっても、個人情報の件があり、写真や動画に映りたくない人が、学年に2～3人はいる。
　生徒だけでなく、保護者が敬遠することもある。その生徒だけを避けて配信するのは無理であった。
　体育大会等はパスワードで管理して写真を販売している。

＜委員＞
　現在の体育施設で定めている利用基準で、こまめな消毒とあるが、どのような想定をしているのか？

＜事務局＞
　共有する道具で、それを利用したら、他の方が使う前に消毒するなどを想定しています。

＜委員＞
　体育施設指定管理者から出されている利用基準があるが、それを守れば良いのか？

＜事務局＞
　利用基準はスポーツ振興課で作成しているので、それを基にご利用いただければと思います。

＜副会長＞
　今年度が現計画の5年目であるが、今回の新型コロナウイルス感染症問題が発生し、様々な取り組みが思うように進むことができない1年になっているが、その中で計画の取り組みの84％を達成している状況は素晴らしいと思う。ただ、コロナ対策についての基準も見通しが立たないし、やりたいことをできない状態だと思う。野球や相撲などは観客を増やすなど、状況を見て変わってきている部分があるので、見通しが立たない状況では新しい計画の策定の検討はできないと思う。
　今の状況では、現計画を延長しながら、コロナ対策のガイドライン等に沿って、進めていくしかないのかなと思う。スポーツ庁がガイドラインを作って、県がそれを引用する形をとっている。これが全ての基準となって感染拡大を防ごうと動いている。
　このガイドラインもまた改訂されると思われるため、見通しがつくまでは、現計画でできることを引き続き進めていき、その間に国や県の新しい計画も策定されると思われる。
　新型コロナウイルスに関する内容がどのように反映されるのか不透明な中、生駒市が今の時点で計画を新たに策定せず、国や県の動向を見極めてから、市の計画を策定してもいいのではないかと考える。

＜事務局＞
　国や県の計画ですが、国の方は令和3年度で今期の計画が終了となり、県の現計画が令和4年度までとなっています。
　あくまでも予定ですが、現在の市の計画策定のタイミングでは、市が策定すると翌年度に国が、その次の年度に県が策定されるサイクルとなります。
　副会長がおっしゃるとおり、コロナ禍の対応として、国や県の計画には、新しい生活様式等が盛り込まれた内容になるのではないかと思っています。いずれにしても市の立場としましては、国や県の計画との整合性を図り、副会長のご意見のとおり、計画を策定していくことが良いのではないかと考えています。

＜委員＞
　総合型地域スポーツクラブについてだが、諮問趣旨にも書かれているように、十分な成果を達成できていない。まさにその通りだと感じている。クラブの運営委員、クラブマネジャーとして、会員を増やす方策についてどうしたらいいかと考えている。まず、認知度が低いと感じている。前回の市民意識調査では、4．7％の方しか知らない、他の方は何をやっているか分からない、総合型地域スポーツクラブが何か分からないとの結果が出ている。それをどの様にして認知してもらうかなどを、市の方でも考えていただき、支援や協力をしていただきたいと思う。

＜事務局＞
　総合型地域スポーツクラブの活動支援については、もっと力を入れていかないといけないと感じています。
　令和3年度から実施予定であった、総合型地域スポーツクラブの認証制度が、コロナ禍の影響で、令和4年度からの運用開始となりました。この制度は、日本スポーツ協会の登録認証制度となりますが、そこで登録認

証されているクラブについては、公益的な活動をされているクラブということで、市の方も支援をさせていただければと考えています。
　制度の開始が1年延期となったことによりまして、現時点では認証制度の内容が見えてこないのですが、今後は、登録認証制度の内容に沿った形で、市としても支援をしていきたいと考えています。
　認証されたクラブを重点的に支援していければと考えています。

＜委員＞
　先ほどの副会長のご意見に賛同する形になるのですが、市体育施設の指定管理者の立場からになるが、現状で計画変更があれば、実行する側からすれば、今回のコロナの件もある中では、新しい計画の策定は少し待ってもらえればと思う。
　昨年度、体育施設指定管理者の公募があったので、更新時期から1年で、しかもこのコロナ禍の中で計画が終わってしまうのは、提案書を出してからの期間的に短いと感じる。
　計画変更があり、残りの指定管理期間を考えると、提案書の内容や中身を変えていかなければならないため、公共施設の指定管理者の公募であるため、これを機に計画期間を考えていくべきではないかと思う。

＜事務局＞
　委員の言われるとおりかと思います。
　指定管理者の応募時にスポーツ推進計画をしっかりと取り入れて提案書を作成していただいていることがよく分かりました。
　その辺りも踏まえまして、今回ご意見をいただいた内容を反映させて答申案を作成させていただきます。

＜委員＞
　新しい生活様式を踏まえたスポーツというところで、コロナ禍ですごく不自由な思いをして、色々な大会が中止となったり、思うようにスポーツができない中で、唯一オンラインレッスンが盛り上がっている。
　5月くらいからオンラインを民間スポーツクラブでも始めたが、クラブのレッスンなどが再開した現在も、引き続きオンラインを希望される方が多くおられる。平日の朝だったり、週末の夜だったり、それぞれのタイミングで自宅で実施できるのが良いのだと思う。多いときは70人以上集まったこともある。
　オンラインでの実施は今までフィットネスクラブに行く時間のなかった人たちのニーズに応えられている。
　コロナ禍で悪いことばかりではなく、できるようになったことに目を向けて、生駒市が進めていければと思う。ただ、スマホやパソコンが無いと参加出来ないので、それらを支援する環境整備や、施策があれば良いと思うがいかがか？

＜事務局＞
　個人情報の話などクリアしないといけない部分もありますが、本日開催の教育委員会でも話が出ており、今回のコロナ禍があったから進んだこともあり、新しくできた分野もあります。
　オンラインを活用して様々な発信を、市としましても考えないといけないと思っています。
　今回の件で、民間事業者も色んな研究をされていて、AIカメラを使いスポーツ大会やイベントなどをライブ配信できる環境も進んできていると聞いています。
　まだまだ研究段階で、どういったものなのか分かりませんが、オンラインレッスンのライブ配信や、市内スポーツイベントのライブ配信などができれば良いと考えています。
　今日いただいたご意見をもとに予算等もみながら進めていければと考えています。

＜委員＞
　子どもが幼稚園に入って、初めての運動会に行ってきた。
　コロナの関係で、運動会は行って帰ってきて1時間という短時間であった。

年少、年中、年長、それぞれ完全入替制開催された。先生方の手際が素晴らしくて、子どもたちより、先生方がすごく感じた。
時間は短くなったが、色んな要素が詰められていて、見ている側としては非常に満足のいく内容であった。先生方が色々と考えていただいたのが伝わる、すごく良い運動会であった。
時間が短い分、見る側の意識も集中しており、事前にプリントもいただいていたことから、段取りも事前に分かり、それに沿って保護者も動いて、スムーズに滞りなく運営されていた。
使う道具も毎回消毒されていて、手間もコストもかかると思うが、時間が短くなった分、保護者も集中して見ることができ、このコロナ禍でも悪いことばかりじゃないのかと感じた。
生駒市は、幼稚園とか小学校や中学校のツイッターをされていて、私自身は良く見ているが、見ている人が少ない気がする。
きっとネット環境に差があると思うので、市の方で整備してもらいたい。
生駒市フリーWi-Fi などがあればいい。

＜会長＞
色々とご意見いただきありがとうございました。
委員の皆さん、他に何かありますか？

＜委員＞
［なし］

＜会長＞
それでは、事務局、本日委員の方々からいただいた意見を基に、答申についての調整をお願いする。
委員の皆様には、引き続きよろしくお願いします。
事務局、他にありますか？

＜事務局＞
あり方の諮問についての答申までの、今後のスケジュールについてご説明いたします。
資料2の下段をお願いします。
本日、皆様からいただきましたご意見を事務局の方で整理させていただきます。
本日のご審議内容によりますと、現在の計画を引き続きしっかりと進めていくことが望ましいと言うような内容でありましたので、計画のあり方につきましては、現計画の改訂版という形になろうかと思います。
こちらで本日のご意見を整理させていただき、コロナ禍の中ですので、文言の整理や、今後のご意見の反映は、文書やメール等で個々にやり取りをさせていただき、ご確認をお願いしたいと考えております。
その後、1月下旬から2月上旬に第3回の審議会を開催させていただき、答申等の内容をご承認いただき、審議会から教育委員会への答申ということで進めさせていただきたいと思います。
そのようなスケジュールでよろしいでしょうか？

＜会長＞
ただ今の事務局から説明を受けたスケジュールでよろしいでしょうか？

＜委員＞
［了承］

＜会長＞
それでは、その他について事務局説明を。

＜事務局＞
「(1) 新型コロナウイルス感染症対策について」を説明
・感染拡大等対策用購入物品について説明
・スポーツ事業の再開等について説明

＜会長＞
ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

＜委員＞
［質問なし］

＜会長＞
続いて、事務局から説明を。

＜事務局＞
「(2) 熱中症対策について」を説明

＜会長＞
ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

＜委員＞
体育施設の利用者で、熱中症で倒れられたなどの報告や実績はあるか？

＜事務局＞
「体育施設での熱中症の報告や実績」についての説明

＜会長＞
続いて、事務局から説明を。

＜事務局＞
「(3) 学校における働き方改革に係る文部科学省の取組について」を説明

＜会長＞
この取り組みは、運営の形態が見えにくい。進めていくのは困難だと思う。
何かご質問、ご意見はありますか。

＜副会長＞
これは本当に難しい取り組みだと感じている。学校の部活動は日本独特の文化で歴史がある。
アスリートが、学校の部活動で育ってきた歴史もある。
教師の働き方改革というのはよくわかるが、部活動があって、その成果を発揮する場として全国大会、インターハイ、全中などがある。部活動があるからインターハイがある。目標をどこに定めればよいのか？
日本が積み重ねてきた学校部活動の仕組みなのでなかなか変えにくい。
海外の子どもたちのスポーツチームでは、選手全てが試合に出場できたりと、日本とは違ったやり方をしている。

日本は、1チームに100人も選手がいる学校のクラブもあり、試合に出られない選手もいる。
日本のスポーツ環境の今まで積み重ねてきたことを、海外のやり方がいいからと言って、その国の仕組みのようにするということは、指導者としては学ぶことは多いと思うが、さて選手の目標を定めるとなると、インターハイや全国大会等になっていく。今回文科省からだされた制度は、今までの歴史を考えると、色々とクリアしなければならない部分が多いと感じている。

＜会長＞
私も同感です。

＜副会長＞
この制度は理想だと思う。
子どもにとったらどちらがいいんでしょう。

＜委員＞
子どもの側から見ると1つのチームを作るだけの生徒もいない地域もある。

＜副会長＞
その辺りは、受け皿が必要だと思う。

＜事務局＞
今後は、地域性などを考え、この制度で今すぐにとはできないかも分からないですが、ゆくゆくの理想としてはそうなっていければと感じています。

＜副会長＞
サッカーは国際基準に合わせて、カテゴリー分けをして進めているため、学校部活動以外の活動も盛んである。陸上も世界では年齢基準に合わせ運営されている。
日本の仕組みは世界基準で考えるとマイナス部分もあるが、現時点では仕方がないことかも分からない。
日本も世界基準に合わせていければいいのだが。

＜委員＞
副会長がおっしゃるとおり、学校クラブを運営している私もこの仕組みは難しいと思う。
県子ども対抗駅伝の生駒市チームのコーチをしているが、小学校の時に駅伝大会に出場し、これからも陸上を続けたいと思っていても中学校に陸上部がないということが起こっている。
そういった状況を無くしてあげれればと以前から思っている。
やりたいスポーツを続けられる環境を整えられればと考えている。
学校部活動の仕組みを大きく変えることが難しいが、環境を整備してあげるということで、オンラインでの指導も選択肢の一つであるし、市内のどこかに行けば、そのスポーツができる受け皿があれば良いと思う。
それがひとつの答えになるか分からないが。

＜事務局＞
その辺りが、学校部活動とは別に、総合型地域スポーツクラブなどが、その地域の受け皿として、競技や生徒数を考慮して運営ができれば、いつまでもその競技を続けていける環境ができるのではないかと思っています。
それは、市のスポーツ計画の中にも掲げられていますが、できていない部分もありますので、推進計画内の取り組みを引き続き進めていきたいと考えています。

＜委員＞
　学校部活動と地域部活動は違うのか？

＜事務局＞
　違います。土日祝だけが地域部活動という名称になり、地域住民が主体となっての運営となります。

＜会長＞
　今後も委員の皆様からご意見をいただき、生駒市は生駒市としての仕組みを考えていければ良いと思う。

＜副会長＞
　10年以上前になるが、県が小学生や中学生に学校部活動についてのアンケートを行った。
　結果としては、行いたいスポーツはあるが、その学校にその競技種目がない。自分が通う中学校で部活動の環境が決まってくるので、部活に入りたくても入れないのが事実としてある。
　また、部活の顧問、指導者と合わない、下手だから入りにくいなど、様々な理由で部活動に足が向かない子どもたちがいるのも事実である。
　そういったことで、色んなスポーツ環境を作ること、学校以外で総合型地域スポーツクラブも含めて受け皿を作ることは必要となってくる。

＜会長＞
　総合型地域スポーツクラブの方向性が定まっていない気がする。
　委員の皆様から様々な意見をいただいているので、生駒市としてより良い方向へ進んでいければと思う。
　他に何かありませんか。

＜会長＞
　事務局の方から他に何かありますか。

＜事務局＞
　「生駒市公共施設マネジメント推進計画について」を説明

＜会長＞
　ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

＜委員＞
　［質問なし］

＜会長＞
　特にないようですので、全体を通して何かご意見等はありますでしょうか？

＜委員＞
　先日行われた、ファミリースポーツの集いは、昨年より大幅に参加者が増えた。
　参加者からの意見を聞くと、他のスポーツのイベントが全て中止になっている。
　今回久しぶりにスポーツイベントが開催されたので、子どもたちは嬉しくて参加した。
　そういった現状があるのを、私たちは認識しないといけないと思った。
　この街にとってスポーツはとても大切だと実感したので、コロナ禍の中であっても、しっかりと対策を講じて、計画を進めていく必要があると考えさせられた。

＜会長＞
　生駒市の体育施設については、他の市町村が休館する中で、最後まで開館していた。
　委員のおっしゃたことは十分に分かっている。何でもかんでも中止にするのではなく、できる方法を考えて、しっかりと対策をとって進めていきたいと思っているので、委員の皆さんも、ご理解とご協力をよろしくお願いする。
　その他、ご意見等はありますでしょうか？

＜委員＞
　［なし］

＜会長＞
　なければこれで令和2年度　第２回の生駒市スポーツ推進審議会を終了します。